北 陸 植 物 学 会 会 報

第１６号

2026 年 11 月

北陸植物学会　２０２６年度大会

日時：2026 年 11 月 8 日（日曜日）午前 10 時 ～

会場：福井県立大学 永平寺キャンパス 共通講義棟 107 教室

I 研究発表（発表 12 分、質疑応答 3 分）

10:00　珪質鞭毛藻 *Octactis octonaria* の多細胞体形成は高温で誘発される

小山貴永[1]、青山剛士[2]、佐藤良勝[2]、山田和正[1]

([1]福井県大・海洋生物、[2]名大・ITbM)

10:15　土壌植物病原性糸状菌の吻合の可視化技術の開発

武井倫太朗、平賀清哉、宮島俊介

(石川県立大学 生物資源工学研究所)

10:30　シロイヌナズナ根における GSL-ミロシナーゼ代謝の空間的制御

上杉悠華[1,2]、小関喬平[2]、宮島俊介[1]

([1]石川県立大学・生物資源工学研究所、[2]石川県立大学・生物資源環境学部・食品科学科)

10:45　水稲苗における低濃度エタノール処理が生育に及ぼす影響

野村奈央、白矢武士、福原楓、赤石隆一郎、本間利光、種村竜太

（新潟県農業総合研究所）

11:00　水稲苗への低濃度エタノール処理が移植後の生育および収量に及ぼす影響

白矢武士、野村奈央、赤石隆一郎、本間利光

（新潟県農業総合研究所）

11:15　分裂誘導コンストラクトによるシロイヌナズナ子葉細胞の異所的細胞分裂の解析

名倉洸悠[1]、千賀理保子[2]、伊藤正樹[3]、池田美穂[1]

([1]福井県大・生物資源、[2]金沢大・院自然科学・生命理工、[3]金沢大・理工・生命理工)

11:30〜12:00　総会（会員はご出席下さい）

12:00〜13:00　休憩・昼食

13:00　ウキクサ植物（*Wolffiella hyalina*）の成長に及ぼす過重力の影響

池田理宇[1]、石澤秀紘[2]、唐原一郎[3]、半場祐子[4]、久米篤[5]、藤田知道[6]、蒲池浩之[3]

([1]富山大・院理工、[2]阪大・院工、[3]富山大・理、[4]京都工繊大・応用生物、[5]九大・院農、[6]北大・院理)

13:15　シダ植物ヘビノネゴザにおける重金属蓄積部位の解析と凍結乾燥による試料調製方法の検討

内山泰斗[1]、蒲池浩之[2]

([1]富山大・院理工、[2]富山大・理)

13:30　植物に特有な細胞サイズ制御因子SCL28 が形成する転写因子複合体の機能解析

片桐雅季[1]、Chen Poyu[2]、岩川秀和[2]、西内巧[3]、野澤彰[4]、澤崎達也[4]、伊藤正樹[2]

([1]金沢大・院自然科学・生命理工、[2]金沢大・理工・生命理工、[3]金沢大・ReCEMHD、[4]愛媛大・プロテオサイエンスセンター)

13:45　シロイヌナズナの細胞サイズ制御因子SCL28 のタンパク質分解制御機構の解析

三井伸哉、野本友司、Chen Poyu、伊藤正樹

（金沢大・理工・生命理工）

14:00　休憩

14:15　G2/M 期特異的遺伝子群は MYB3R 依存的、非依存的なメカニズムにより二段階の発現制御を受ける

千賀理保子[1]、笹木麻緒[2]、岩川秀和[2]、伊藤正樹[2]

（[1]金沢大・院自然科学・生命理工、[2]金沢大・理工・生命理工）

14:30　シロイヌナズナにおける TCX 転写因子による G2/M 期遺伝子の転写制御機構の解明

笹木麻緒[1]、千賀理保子[2]、山本留衣[2]、伊藤正樹[1]

（[1]金沢大・理工・生命理工、[2]金沢大・院自然科学・生命理工）

14:45　ペプチドホルモン硫酸化酵素 TPST のゼニゴケオーソログの機能解析

浅川静音、篠原秀文

（福井県立大学・生物資源学部）

15:00　根端メリステム活性を維持するペプチド RGF のゼニゴケオーソログ MpRGF の機能解析

小川葉摘、篠原秀文

（福井県立大学・生物資源学部）

15:15　新たな *in silico* 探索法による新規ゼニゴケ硫酸化ペプチドの探索

塩﨑杏奈、篠原秀文

（福井県立大学・生物資源学部）

15:30　閉会

II 総会（11:30～12:00）

1. 令和 7 年度（2025 年度）活動報告（庶務報告、会計報告）
2. 2027 年度大会の予定（開催地）について
3. 規約改正について
4. その他